

【報道関係各位】

ECC×日本一小さな町・忠岡町 “英語教育で地方創生” 『ミュージックビデオ風 自治体PR動画』リリース ピコ太郎につづけ!? 小学生・中学生がアンバサダーに!

総合教育機関・生涯学習機関の株式会社 ECC(本社:大阪市北区、代表:山口勝美)は、自治体向け英語教育サービスの新企画として、大阪府泉北郡忠岡町のPR動画を2016年11月にリリースいたします。

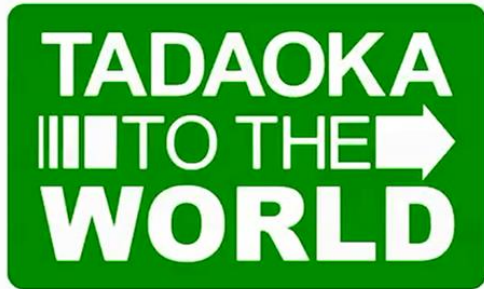


写真:ラップ調の英語とヒップホップで町をPRする子どもたち。国宝を所蔵している正木美術館内でもダンスを披露している。
動画には泉州弁のテロップがつけられている。

【本件のポイント】

- ・日本一小さな町(大阪府泉北郡忠岡町)とECCによる「英語教育で地方創生」新企画
- ・必修化で関心高まる「英語」と「ダンス」で保護者層へ町の魅力をアピール
- ・出演者は、教育長から「アンバサダー」に任命された忠岡町の小学生・中学生 25 名
- ・ピコ太郎で話題のミュージック・ビデオ風動画で、国内外へのPRを目指す

【本件の背景】

アベノミクスが掲げる地方創生を受け、自治体と企業とのコラボレーションが活発化しています。大阪府泉北郡忠岡町では、ECCと「英語教育で地方創生」をテーマに町おこしを推進。2期目となる今年は、小学生・中学生を町のアンバサダーに任命し、英語とダンスによるミュージック・ビデオ(以下MV)風PR動画を制作いたしました。必修化で関心が高まる「英語」「ダンス」を題材に、拡散効果の高いMV風動画という手段で、国内外へのPRを目指します。

【本件の概要】

サービス名称 忠岡町PR動画「TADAOKA TO THE WORLD」

目的 国内外に「英語の町・忠岡」をアピールする

公開日 2016年11月22日(火)

公開URL <https://youtu.be/n0smS1NNbuY>

特徴 ・ECCが動画制作をトータルプロデュースした「官民連携企画」

・忠岡町の小学生・中学生 25 名が出演

・ECCネイティブ講師が歌と英語、ECCダンススクール講師が振付を指導

担当 ECC法人渉外事業部 幼児教育推進課 (<http://www.biz.ecc.co.jp/youji/>) Tel :0120-386-144

ECC YouTube
チャンネルで
世界に公開



【本件に関する問い合わせ先】

株式会社 ECC 法人渉外事業部 広報担当 宮本

Tel : 06-6354-0023 携帯 : 080-4061-3308 Fax : 06-6352-2630 (受付 : 月 ~ 金 9 : 00 ~ 18 : 00)

株式会社ECC 企画開発本部 広報担当 泉

Tel: 06-6352-0148 Fax:06-6352-0138 Mail: kouhou@ecc.co.jp (受付 : 月 ~ 金 10 : 00 ~ 19 : 00)

参考資料 忠岡町PR動画「TADAOKA TO THE WORLD」制作後の関係者のコメント

①忠岡町教育委員会教育長 富本正昭（とみもと まさあき）

忠岡町の子どもたちのために、“英語で体験する場”として「忠岡町の魅力を世界に発信するPR動画」を制作しました。英語やダンスのトレーニング、スタジオやロケ地での収録等を行ったのは、7月・8月の猛暑の時期。大変エネルギーのいる作業でしたが、「よし、やるぞ!」「1回で決めよう!」など、子どもたちがお互いに声を掛けあい、思いやりで乗り越えている様子に感動しました。

人と人がコミュニケーションをとる機会が少なくなっている時代にあって、PR動画制作に関わった子どもたちが英語やダンスだけではなく、自分の考えを相手に伝える難しさや思いを表現する大切さを学べたことは大きな収穫でした。完成披露試写会で成長した様子を見て、子どもたちの未来に無限の可能性があることを確認できたことが何よりの喜びです。

②忠岡町保護者 柿花泰之（かきはな やすゆき）さん

貴重な経験をさせていただいて、うれしいです。初めての英語、ダンス体験で、本人は恥ずかしいといいながらも楽しんでいたと思います。忠岡町をPRする一員になれてよかったです。

（柿花滉大（かきはな こうだい）さん（8歳・東忠岡小学校2年生）の保護者）

③ECC法人渉外事業部 事業部長 白川裕一（しらかわ ゆういち）

年齢問わず「世界とつながっている感覚を持てる人財」を育てたいという、町の想いを形にしたいと企画しました。「教育で町おこし」という素晴らしいテーマに対し、保護者の関心が高い「英語」「ダンス」という二つの商品で応えられたことに、ほっと胸をなでおろしています。印象的だったのは「違う学年のお友だちができてうれしい」と言ってくれた子どもたちの言葉。本企画が「多様性を認め合い世界とつながることのできるグローバル人材への一歩」となってくれば、これ以上の喜びはありません。子どもたちの中に芽吹いた想いが町全体に、そして世界に羽ばたいてくれることを願っています。



写真(左・中):ロケ地、スタジオでの撮影風景。(右):アンバサダー任命式の様子。富本教育長より認定証と記念品が授与された。

【ECCについて】

ECCは1962年に創業以来、総合教育・生涯学習機関として様々な教育活動を展開。50余年に亘る実績と信頼に強みを持ち、外国語教育市場でシェアNo.1*の企業です。幼児からシニア世代までそれぞれの目的を実現する独自のカリキュラムや教材を導入し、確かな成果を生み出しています。語学教育を通じて時代にあった国際的なセンスを育て、人と人、人と未来をつなぐこと。“真の国際人”としての資質を兼ね備えた人材を育てることがECCの使命です。*「語学ビジネス徹底調査レポート2016」(株)矢野経済研究所 <http://www.ecc.co.jp/index.html>

【忠岡町について】

忠岡町は、大阪府の南西部大阪湾沿いの平野部に位置しており、面積が3.97k㎡の日本一小さな町です。かつては漁業や毛布・ニットなどの中小繊維工業が盛んで、現在は大阪中心部まで30分ということもあり、大阪の通勤・通学都市となっています。スポーツが活発な町で、特に野球では、前田健太選手などプロ野球選手を輩出しています。本企画では、英語を通じて「忠岡町に住んで良かった、忠岡町に住みたい、忠岡町にもどってきたい」の想いを育むことをめざしています。<http://www.town.tadaoka.osaka.jp/>